



# FY2019 Q3

FY2019 Q3 RESULTS BRIEFING



証券コード 5985

## 2020年3月期第3四半期決算報告 通期業績見通し

2020年2月12日

**SUNCALL**

RESULTS BRIEFING

INDEX

- 2020年3月期3Q累計決算概要
- 2020年3月期通期業績見通し

# 2020年3月期 3Q累計 決算概要

Financial Summary

## 3Q累計 決算のポイント

2019年10月23日公表の業績修正通りに進捗するも、

前年同期比では減収減益

- 世界経済が減速傾向にある中、想定以上に中国景気の回復が遅れており、自動車分野を中心に売上高は計画対比下振れ。
- データセンター向け投資は回復基調にあるものの、サスペンションの顧客製品構成の変更により、本格的な受注回復までには至らず。
- プリンター関連は計画通りの売上を計上。
- スマートフォン用部品の量産立ち上げにより売上に寄与。
- 自動車関連の採算性改善などにより、営業利益は業績修正通りに推移。

# 3Q累計 決算概要

- POINT
- 売上高 : 米中貿易摩擦が長引き、中国の景気減速などの影響を受け前年同期比9.8%減収。
  - 営業利益 : 自動車関連製品の採算性改善等により回復傾向にあるが、上期の落込みが大きく、前年同期比65%減益。ただし、3Qの営業利益率は5.8%で2Qから3.0ポイント改善。
  - 経常利益 : 3Q累計での為替差損25百万円に対して、前期は為替差益83百万円。
  - 当期純利益 : 投資有価証券売却益563百万円を計上。

(単位:百万円)	2019年3月期3Q累計	2020年3月期3Q累計		
	実績	実績	前期比増減額	前期比増減率
売上高	34,981	31,547	▲3,434	▲9.8%
営業利益	3,059	1,070	▲1,989	▲65.0%
経常利益	3,314	1,159	▲2,155	▲65.0%
当期純利益	2,177	1,201	▲976	▲44.8%

一株当たり利益	68.30円	37.70円	▲30.60円	▲44.8%
平均為替レート	111.15円/ドル	108.67円/ドル		

# 3Q 決算概要

POINT  
Q2/Q3  
比較

- 売上高 : 3Qは自動車分野およびプリンター関連で2Q比微減。HDD用サスペンションは回復が遅れ3Qは2Q比減少。
- 営業利益 : HDD用サスペンションの利益は伸び悩んだが、自動車関連製品の採算性改善等により営業利益は1Qを底に増加傾向。
- 経常利益 : 3Qは受取配当金の計上があり、営業外損益は2Q比で改善。
- 当期純利益 : 3Qに投資有価証券売却益計上。

(百万円)	2019年3月期				2020年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	2Q比増減額	2Q比増減率
売上高	11,502	11,886	11,591	10,830	10,270	10,737	10,540	▲197	▲1.8%
営業利益	1,145	992	921	324	156	301	613	312	103.7%
経常利益	1,326	989	998	242	200	290	669	379	130.7%
当期純利益	902	491	783	137	120	208	873	665	319.7%

平均為替レートの	109.07	111.46	112.90	110.21	109.90	107.35	108.76		
	円/ドル								

# 3Q累計 製品区分別売上

## POINT

- 自動車分野 : 材料関連は欧州・韓国向け輸出を中心として低迷。自動車関連は国内需要向けは堅調だが、中国の影響が大きく前年同期比減収。
- 電子情報通信分野 : データセンターの投資は底打ちしたが、当社HDD用サスペンション売上の回復は4Q以降に遅延。プリンター関連の販売はほぼ期初想定通り。
- その他 : スマートフォン用部品の量産が寄与。

(単位:百万円)	2019年3月期3Q	2020年3月期3Q		
	実績(A)	実績(B)	前期比増減額B-A	前期比増減率
売上高	34,981	31,547	▲3,434	▲9.8%
自動車分野	24,374	22,861	▲1,512	▲6.2%
材料関連	4,333	3,782	▲551	▲12.7%
自動車関連	20,040	19,079	▲961	▲4.8%
電子情報通信分野	10,083	7,484	▲2,599	▲25.8%
HDD用サスペンション	6,303	4,178	▲2,125	▲33.7%
プリンター関連	2,941	2,633	▲308	▲10.5%
通信関連	838	673	▲165	▲19.7%
その他	522	1,200	+677	+129.6%

# 3Q累計 地域別売上

## POINT

- 日本 : 自動車分野では国内需要向けはおおむね堅調、中国市場向け製品の需要が低迷。
- 米国 : 自動車関連製品は順調に推移するも、通信関連は光通信産業の設備投資減少により販売低調。
- 中国 : プリンター関連で納入が「その他」地域に変更になったことにより減収、自動車分野の中国での回復は遅れる。
- フィリピン : HDD用サスペンションの減収。
- その他 : メキシコでは自動車分野好調。欧州や韓国向けの材料関連は自動車販売の不振により低迷。

(単位:百万円)	2019年3月期 3Q累計	2020年3月期3Q累計		
	実績	実績	前期比増減額	前期比増減率
売上高	34,981	31,547	▲3,434	▲9.8%
日本	14,707	14,610	▲97	▲0.7%
米国	3,322	3,332	+10	+0.3%
中国	3,918	2,902	▲1,016	▲25.9%
フィリピン	6,369	4,179	▲2,190	▲34.4%
その他	6,665	6,522	▲143	▲2.1%

# 3Q累計 連結財務諸表

## POINT

固定資産の増加額の内、国内子会社工場等の建物・構築物の増加739百万円、海外子会社のリース会計適用によるリース資産の増加597百万円、国内子会社工場や生産設備の建設仮勘定の増加799百万円。

(単位:百万円)	2019年3月期末	2019年12月末	
	実績	実績	前期末比増減額
資 産 合 計	50,481	51,793	+1,311
現 預 金	11,861	9,512	▲2,349
売 上 債 権	9,472	9,559	+87
棚 卸 資 産	5,567	6,503	+935
そ の 他 流 動 資 産	550	784	+234
固 定 資 産	23,029	25,433	+2,404
負 債 合 計	14,201	15,327	+1,126
流 動 負 債	10,694	11,519	+825
固 定 負 債	3,506	3,808	+302
純 資 産 合 計	36,280	36,465	+185
負 債 純 資 産 合 計	50,481	51,793	+1,311

# 3Q累計 連結キャッシュ・フローの状況

●営業C/F : 税引前利益が前年同期比1,333百万円減少した一方、減価償却費は計上が進み前年同期比で106百万円増加。

POINT ●投資C/F : 投資有価証券の売却による収入が前年同期比582百万円増加した一方、HDD用サスペンション設備投資や国内子会社の工場増築などによる支出のため、有形固定資産取得が前年同期比で1,739百万円増加。

(単位:百万円)	2019年3月期3Q累計	2020年3月期3Q累計	
	実績	実績	前期末比増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,637	1,825	▲2,811
税引前当期純利益	3,041	1,708	▲1,333
減価償却費	2,231	2,338	+106
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,849	▲2,854	▲1,005
有形固定資産取得	▲1,651	▲3,390	▲1,739
有価証券売却	21	603	+582
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲676	▲1,137	▲460
長期借入金増減	58	▲304	▲363
配当金支払	▲564	▲628	▲63

# 2020年3月期 通期業績見通し

Earnings Forecast Update

## 2020年3月期通期 業績見通しのポイント(当社前提)

### 現在の通期業績見通しから変更なし

- 1Qを底に緩やかに回復。
- 米中貿易戦争などの影響で当社見込みより中国市場の需要回復が遅れている。新型肺炎の国内決算への影響については確認中。
- 自動車分野は、顧客の製品在庫は適正化しつつあり、当社では緩やかな回復を想定。
- サスペンションは、新モデルの立上げも期待、4Qから回復。
- スマートフォン用部品の量産出荷が引き続き売上に寄与。

# 2020年3月期通期 業績概要

## POINT

- 売上高 : 自動車分野(材料関連および自動車関連)とHDD用サスペンションの上期の落ち込みにより減収。ただし自動車分野は2Q以降、HDD用サスペンションは4Qから回復傾向。自動車の在庫調整の進展、データセンターの投資回復が主因。
- 営業利益 : 通期では62%減益だが、自動車関連の生産性改善、HDD用サスペンションの増収効果などにより上期を底に回復。
- 当期純利益 : 中国子会社の移転に伴う追加費用などの特別損失を見込む。

(単位:百万円)	2019年3月期	2020年3月期		
	実績 (A)	予想 (B)	前期比増減額 B-A	前期比増減率
売上高	45,812	43,300	▲2,512	▲5.5%
営業利益	3,384	1,300	▲2,084	▲61.6%
経常利益	3,557	1,340	▲2,217	▲62.3%
当期純利益	2,314	1,100	▲1,214	▲52.5%

一株当たり利益	72.59円	34.36円	▲38.23円	▲52.7%
平均為替レート	110.91円/ドル	107.31円/ドル		

# 2020年3月期下期見通し

## 上期/下期 比較の POINT

- 売上高 : 自動車分野では、上期比微増に留まる。  
電子情報通信分野では、プリンターや通信関連は減少するが、サスペンションが上期比増収見込み。結果、分野全体でも増収を見込む。
- 営業利益 : 主に増収要因で営業利益の回復を見込む。  
自動車分野では、収益改善などにより約60%の増益を見込む。  
電子情報通信分野でもサスペンションの増収を主因に、この分野で上期比約60%の増益を見込む。

(単位:百万円)	2020年3月期			
	上期実績	下期見通し	増減額	増減率
売上高	21,007	22,293	+1,286	+6.1%
営業利益	457	843	+386	+84.5%
営業利益率	2.2%	3.8%	+1.6pt	
経常利益	491	849	+358	+72.9%
当期純利益	328	772	+444	+135.4%
一株当たり利益(円)	10.27	24.09	+13.82	+134.6%

# 2020年3月期下期 製品区分別売上見通し

## POINT

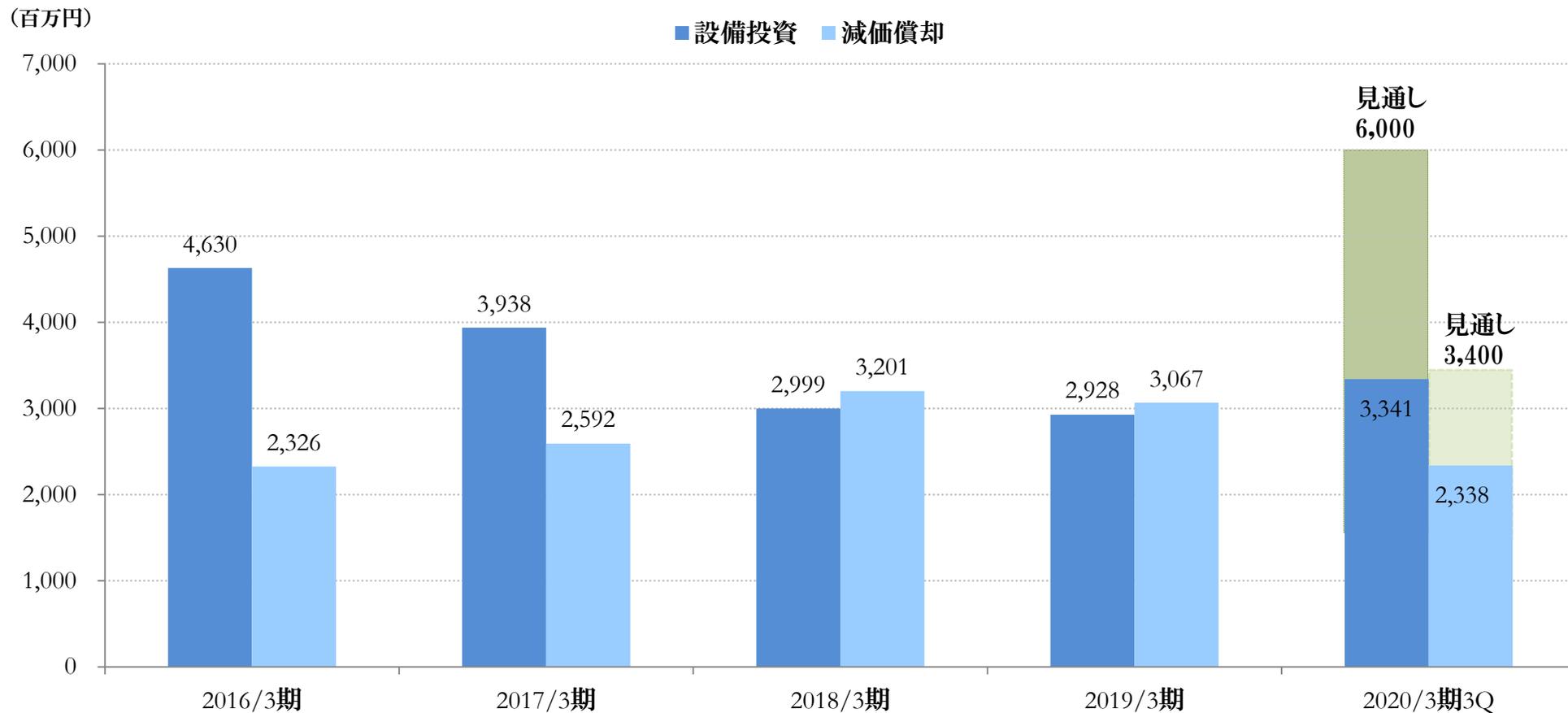
- 自動車分野 : 中国の自動車販売の低迷や在庫調整などの影響は顧客ごとに異なる。当社は下期は緩やかな回復を見込む。
- 電子情報通信分野 : サスペンションは3Qを底に回復、下期は前年同期比増収を見込む。プリンターは上期前倒し納入のため下期は落ち込むが、通期で期初想定並みを見込む。
- その他 : スマートフォン用部品の量産継続。歩行支援ロボットは引き合い等あるが売上寄与は来年度以降に遅延。

(単位:百万円)	2020年3月期				
	上期実績(A)	下期見通し(B)	通期合計	増減額B-A	増減率
売上高	21,007	22,293	43,300	+1,286	+6.1%
自動車分野	15,219	15,780	31,000	+561	+3.7%
材料関連	2,500	2,799	5,300	+298	+11.9%
自動車関連	12,718	12,981	25,700	+263	+2.1%
電子情報通信分野	5,266	5,733	11,000	+467	+8.9%
HDD用サスペンション	3,026	3,873	6,900	+847	+28.0%
プリンター関連	1,749	1,550	3,300	▲199	▲11.4%
通信関連	490	309	800	▲180	▲36.8%
その他	522	777	1,300	+255	+48.9%

# 2020年3月期通期 設備投資・減価償却の状況

## POINT

- 3Qまでの設備投資は自動車関連製品能力増強ならびに新規開発関連および工場増築投資。
- HDD用サスペンションの能力増強ならびに工場増築など現在進行中。
- 今期投資計画70億円に対して60億円、減価償却費計画37億円に対して34億円の見通し。

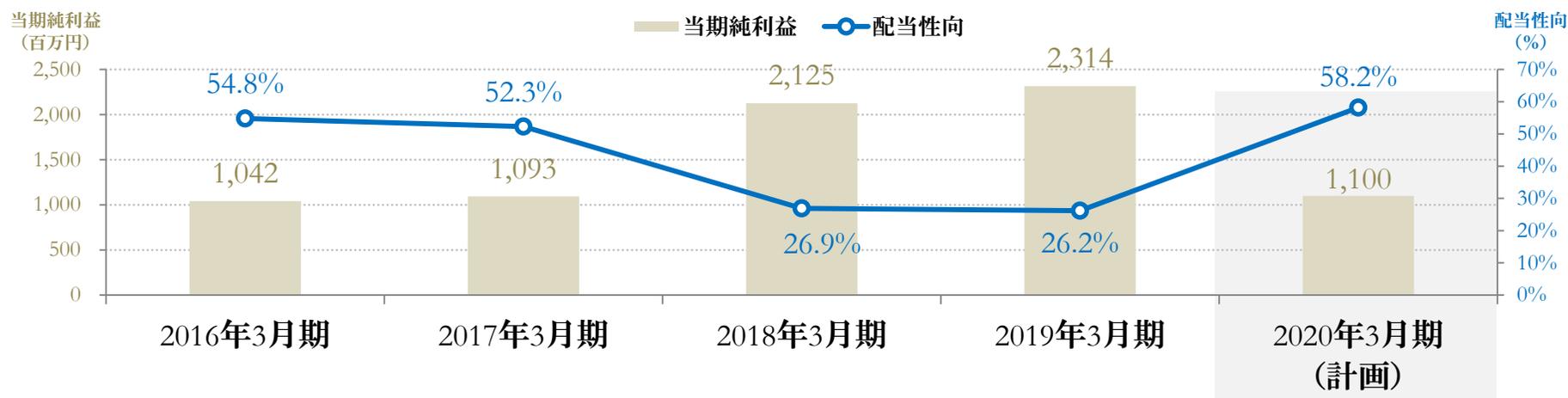


※上記設備投資額については完成ベース

# 2020年3月期 配当方針

## 年間配当20円を予定(1円増配)

配当方針	当期純利益が 25億円まで配当性向 30%	配当下限 20円
	25億円超配当性向 40%	



中間配当	8円	8円	8円	8円	9円
期末配当	10円	10円	10円	11円	11円
年間配当計	18円	18円	18円	19円	20円

## 【ご注意】

本日の説明および配布資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。

